



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月12日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL http://www.toyogosei.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長 (氏名) 多木 宏行 (TEL) 03-5822-6170
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (説明会の代替として、決算説明の動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	24,455	6.4	2,184	40.1	2,061	31.5	1,852	58.2
2019年3月期	22,975	11.9	1,559	19.9	1,567	43.9	1,171	35.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	233.43	—	19.1	5.4	8.9
2019年3月期	147.54	—	14.1	4.7	6.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	39,130	10,569	27.0	1,331.63
2019年3月期	36,865	8,841	24.0	1,113.90

(参考) 自己資本 2020年3月期 10,569百万円 2019年3月期 8,841百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,463	△5,179	△80	3,170
2019年3月期	2,097	△2,499	3,268	5,000

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	79	6.8	1.0
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	158	8.6	1.6
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		14.4	

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	2.5	1,000	△14.4	950	△10.8	620	△10.6	78.11
通期	25,000	2.2	1,800	△17.6	1,700	△17.6	1,100	△40.6	138.59

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手できる情報に基づき可能な範囲で合理的に算定しております。実際の業績等は今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況等により異なる可能性があり、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。詳細は添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	8,143,390 株	2019年3月期	8,143,390 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	206,276 株	2019年3月期	206,168 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	7,937,171 株	2019年3月期	7,937,234 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、年度終盤には、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛などにより、個人消費が弱い動きとなるとともに、その影響が企業の生産活動や雇用情勢にも及ぶなどを背景に、景気の後退局面が見られました。

一方、世界情勢では、米中貿易摩擦に伴う関税の引き上げ、東アジアや中東における地政学的リスクの高まりなどから、国際貿易や製造業の活動が悪化しています。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞が世界規模で進行しており、今後の、原油相場、英国のEU離脱決定後の不透明な状況、為替相場の先行きなど各国・地域における動向など、注視が必要な状況が続いています。

このような状況のもと、当社は2018年8月10日発表の中期経営計画「TGC300」に基づき、お客様との関係強化、積極的な拡販、先端分野の高付加価値な新製品の開発、コスト削減に取り組み、当事業年度の売上高は24,455,632千円(前期比+1,480,612千円、+6.4%)、営業利益は2,184,385千円(前期比+624,685千円、+40.1%)、経常利益は2,061,864千円(前期比+494,003千円、+31.5%)、当期純利益は1,852,797千円(前期比+681,770千円、+58.2%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【感光性材料事業】

新型コロナウイルス感染症の拡大による減速懸念はあったものの、半導体およびディスプレイの生産は世界的に継続され、市況の減速は見られず、当社製品の販売も堅調に推移いたしました。特にロジック向け製品は、新規EUV露光を使用するデバイスの生産が本格化したことで、EUV向けを含む先端向け製品の需要が大きく拡大いたしました。その他新規ポリマー製品の順調な増加、また、新型コロナウイルス感染症の拡大でのリスク対策として、各サプライチェーンでの在庫の確保のためと思われる動きも3月以降活発化し、販売増加に寄与して感光性材料全体の売上は大きく増加しました。

この結果、同事業の売上高は14,217,325千円(前期比+1,605,937千円、+12.7%)、営業利益は1,565,885千円(前期比+507,015千円)となりました。

【化成品事業】

電子材料関連は、先端半導体プロセス向け高付加価値・高純度溶剤製品は堅調に推移しました。また、スマートフォン・データセンター向けの半導体メモリの需要は徐々に回復の兆しが見えたものの売上は減少しました。

香料材料製品は、品質の安定化および安定供給に努めたことに加え、新規顧客の開拓により海外の香料メーカーを中心に売上は順調に増加しました。

ロジスティック部門は、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率、回転率共に高水準で推移しております。

この結果、同事業の売上高は10,238,307千円(前期比△125,325千円、△1.2%)、営業利益は618,500千円(前期比+117,670千円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度における総資産は39,130,517千円となり、前事業年度末比2,264,569千円の増加となりました。

流動資産は15,503,106千円で、前事業年度末比1,725,777千円の減少となりました。これは主に固定資産の取得等に伴う現金及び預金1,829,719千円の減少、商品及び製品529,676千円の増加、原材料及び貯蔵品368,084千円の減少によるものであります。

固定資産は23,627,410千円で、前事業年度末比3,990,347千円の増加となりました。これは主に取得による増加5,725,676千円、減価償却による減少2,172,284千円によるものであります。

流動負債は17,090,431千円で、前事業年度末比325,273千円の増加となりました。これは主に、設備関係債務402,080千円の増加によるものであります。

固定負債は11,470,794千円で、前事業年度末比211,240千円の増加となりました。これは主に、長期借入金109,029千円の増加、退職給付引当金111,554千円の増加によるものであります。

純資産合計は10,569,291千円で、前事業年度末比1,728,055千円の増加となりました。これは主に当期純利益1,852,797千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べ1,829,719千円減少し、3,170,663千円となりました。

当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益2,013,423千円、減価償却費2,172,284千円などにより、3,463,392千円(前期比+1,365,728千円)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出5,087,183千円などにより、5,179,083千円の支出(前期は2,499,423千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額400,000千円、長期借入金の純増減額△196,237千円、配当金の支払額118,572千円などにより、80,493千円の支出(前期は3,268,486千円の収入)となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、昨年の相次ぐ自然災害や消費税増税等の影響により、景気の後退感が強まってきたことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な経済活動の減速が懸念されるなど、先行きを予測することはますます難しくなっております。

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社事業への影響につきましては、今後、スマートフォンをはじめとする通信デバイスの販売減少や自動車市場の減速などが見込まれ、不透明な状況が続くと思われまます。当社におきましては、全社の総力をあげ、従業員及びステークホルダーの皆様の安全を最優先するとともに、様々な施策を講じ、事業への影響を最小限に留めてまいります。

当社感光性材料事業、高純度溶剤事業の市場におきましては、5Gインフラ投資やICT・AIの進展によるデータセンター市場が一層拡大すると予測されています。また、先行き不透明な状況の中、短期的には在宅時間の拡大によるPC・ゲーム機の販売増加等もあり、堅調な需要を見込んでいます。当社におきましては、半導体設計サイズの微細化、三次元化のための技術進化に対応するための新規材料の研究開発、製造技術開発、品質管理の高度化、生産性の向上に取り組むとともに、感光材を中心とした生産能力増強を着実に進めてまいります。

香料材料事業の市場におきましては、世界的に引き続き緩やかな拡大が続くと予測されており、現時点ではトイレタリー製品用途を中心とした底堅い需要を見込んでおります。この分野におきましても、積極的な拡販と生産性向上に取り組んでまいります。

しかしながら、今後新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化し、世界的な景気減速、消費低迷が続く可能性もあることから現段階の次期見通しといたしましては、売上高は25,000,000千円(当期比+544,367千円+2.2%)、営業利益は1,800,000千円(当期比△384,385千円)、経常利益は1,700,000千円(当期比△361,864千円)、当期純利益は1,100,000千円(当期比△752,797千円)を見込んでおります。為替相場は105円/\$を前提としております。

なお、2018年8月10日に発表した中期経営計画「TGC300」の数値目標(2023年3月期に売上高300億円以上、経常利益30億円以上、経常利益率10%以上を目指す)につきましては、変更ありません。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際財務報告基準(IFRS)に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,412,383	3,582,663
受取手形	307,586	228,250
売掛金	4,007,257	4,426,544
商品及び製品	4,969,076	5,498,753
仕掛品	129,303	164,902
原材料及び貯蔵品	1,724,006	1,355,922
前払費用	80,047	134,997
その他	603,587	115,779
貸倒引当金	△4,364	△4,707
流動資産合計	17,228,884	15,503,106
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,937,439	3,923,379
構築物（純額）	3,789,629	3,714,026
機械及び装置（純額）	5,214,865	4,746,619
船舶（純額）	0	5,167
車両運搬具（純額）	3,718	2,670
工具、器具及び備品（純額）	192,674	197,449
土地	4,835,945	4,835,945
リース資産（純額）	320,820	351,154
建設仮勘定	271,179	4,336,542
有形固定資産合計	18,566,273	22,112,955
無形固定資産		
借地権	142,555	145,734
ソフトウェア	92,618	93,888
リース資産	178,304	138,968
ソフトウェア仮勘定	—	24,065
その他	3,857	4,442
無形固定資産合計	417,335	407,099
投資その他の資産		
投資有価証券	190,165	149,934
保険積立金	221,372	223,025
繰延税金資産	182,362	675,014
その他	59,555	59,380
投資その他の資産合計	653,454	1,107,355
固定資産合計	19,637,063	23,627,410
資産合計	36,865,948	39,130,517

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	461,657	299,574
買掛金	2,633,169	2,701,018
短期借入金	5,350,000	5,750,000
1年内返済予定の長期借入金	3,427,200	3,121,933
リース債務	165,853	166,534
未払金	239,315	191,144
設備関係未払金	2,801,857	3,448,149
未払費用	199,939	206,029
未払法人税等	406,403	463,172
前受金	40	18,188
預り金	28,186	31,590
賞与引当金	468,760	553,878
役員賞与引当金	34,888	43,038
役員退職慰労引当金	19,366	—
設備関係支払手形	340,280	96,068
その他	188,238	109
流動負債合計	16,765,158	17,090,431
固定負債		
長期借入金	9,207,500	9,316,529
リース債務	359,116	327,556
退職給付引当金	1,428,314	1,539,869
役員退職慰労引当金	53,040	68,085
資産除去債務	179,963	193,930
その他	31,619	24,823
固定負債合計	11,259,554	11,470,794
負債合計	28,024,712	28,561,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金		
資本準備金	1,514,197	1,514,197
その他資本剰余金	27,391	27,391
資本剰余金合計	1,541,589	1,541,589
利益剰余金		
利益準備金	110,769	110,769
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	258,899	258,899
別途積立金	2,600,000	2,600,000
繰越利益剰余金	2,789,249	4,522,988
利益剰余金合計	5,758,917	7,492,657
自己株式	△89,205	△89,550
株主資本合計	8,830,190	10,563,584
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,986	4,611
繰延ヘッジ損益	1,058	1,095
評価・換算差額等合計	11,044	5,706
純資産合計	8,841,235	10,569,291
負債純資産合計	36,865,948	39,130,517

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	22,975,020	24,455,632
売上原価		
製品期首たな卸高	4,478,876	4,969,076
当期製品製造原価	18,987,179	19,762,561
合計	23,466,055	24,731,638
製品他勘定振替高	58,283	40,119
製品期末たな卸高	4,969,076	5,498,753
製品売上原価	18,438,695	19,192,766
売上総利益	4,536,324	5,262,866
販売費及び一般管理費	2,976,624	3,078,480
営業利益	1,559,700	2,184,385
営業外収益		
受取利息	1,063	1,025
受取配当金	6,643	6,157
為替差益	33,702	—
受取家賃	19,634	18,193
受取保険金	51,846	21,910
補助金収入	14,044	13,038
雑収入	35,322	34,272
営業外収益合計	162,257	94,598
営業外費用		
支払利息	117,180	119,674
支払手数料	17,431	28,006
為替差損	—	56,329
雑損失	19,485	13,109
営業外費用合計	154,096	217,120
経常利益	1,567,860	2,061,864
特別利益		
投資有価証券売却益	21,673	—
特別利益合計	21,673	—
特別損失		
固定資産除却損	78,262	20,385
投資有価証券評価損	—	28,055
特別損失合計	78,262	48,440
税引前当期純利益	1,511,270	2,013,423
法人税、住民税及び事業税	455,497	645,702
法人税等調整額	△115,252	△485,075
法人税等合計	340,244	160,626
当期純利益	1,171,026	1,852,797

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,618,888	1,514,197	27,391	1,541,589	110,769	258,899	2,600,000	1,697,595	4,667,264
当期変動額									
剰余金の配当				—				△79,372	△79,372
当期純利益				—				1,171,026	1,171,026
自己株式の取得				—				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				—				—	—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	—	1,091,653	1,091,653
当期末残高	1,618,888	1,514,197	27,391	1,541,589	110,769	258,899	2,600,000	2,789,249	5,758,917

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△89,179	7,738,562	44,696	—	44,696	7,783,259
当期変動額						
剰余金の配当		△79,372			—	△79,372
当期純利益		1,171,026			—	1,171,026
自己株式の取得	△25	△25			—	△25
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—	△34,710	1,058	△33,652	△33,652
当期変動額合計	△25	1,091,628	△34,710	1,058	△33,652	1,057,976
当期末残高	△89,205	8,830,190	9,986	1,058	11,044	8,841,235

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		固定資産圧 縮積立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	1,618,888	1,514,197	27,391	1,541,589	110,769	258,899	2,600,000	2,789,249	5,758,917
当期変動額									
剰余金の配当				—				△119,058	△119,058
当期純利益				—				1,852,797	1,852,797
自己株式の取得				—				—	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)				—				—	—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	—	1,733,739	1,733,739
当期末残高	1,618,888	1,514,197	27,391	1,541,589	110,769	258,899	2,600,000	4,522,988	7,492,657

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△89,205	8,830,190	9,986	1,058	11,044	8,841,235
当期変動額						
剰余金の配当		△119,058			—	△119,058
当期純利益		1,852,797			—	1,852,797
自己株式の取得	△345	△345			—	△345
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)		—	△5,374	36	△5,337	△5,337
当期変動額合計	△345	1,733,393	△5,374	36	△5,337	1,728,055
当期末残高	△89,550	10,563,584	4,611	1,095	5,706	10,569,291

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,511,270	2,013,423
減価償却費	1,944,260	2,172,284
貸倒引当金の増減額(△は減少)	599	342
賞与引当金の増減額(△は減少)	63,225	85,117
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,834	8,150
退職給付引当金の増減額(△は減少)	122,201	111,554
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,378	△4,321
受取利息及び受取配当金	△7,706	△7,183
支払利息	117,180	119,674
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,673	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	28,055
固定資産除却損	78,262	20,385
受取保険金	△51,846	△21,910
補助金収入	△14,044	△13,038
売上債権の増減額(△は増加)	△619,342	△339,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	△713,834	△197,190
仕入債務の増減額(△は減少)	222,356	△94,234
未払又は未収消費税等の増減額	△200,956	259,601
その他	△37,613	68,108
小計	2,405,552	4,208,868
利息及び配当金の受取額	7,706	7,183
利息の支払額	△118,370	△114,668
保険金の受取額	61,865	21,872
補助金の受取額	14,044	13,038
法人税等の支払額	△273,134	△672,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,097,664	3,463,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400,000	△400,000
定期預金の払戻による収入	400,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△2,480,182	△5,087,183
有形固定資産の除却による支出	△24,151	△9,180
無形固定資産の取得による支出	△38,159	△81,927
投資有価証券の取得による支出	△754	△792
投資有価証券の売却による収入	43,824	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,499,423	△5,179,083
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,350,000	400,000
長期借入れによる収入	11,300,000	3,638,000
長期借入金の返済による支出	△6,425,531	△3,834,237
リース債務の返済による支出	△176,863	△165,338
自己株式の取得による支出	△25	△345
配当金の支払額	△79,093	△118,572
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,268,486	△80,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,129	△33,535
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,886,857	△1,829,719
現金及び現金同等物の期首残高	2,113,526	5,000,383
現金及び現金同等物の期末残高	5,000,383	3,170,663

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に共通機能の管理部門を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「感光性材料事業」及び「化成品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「感光性材料事業」は、半導体用感光性材料、液晶表示装置用感光性材料ならびに電気二重層材料等を生産しております。「化成品事業」は、医薬・香料・塗装・溶剤などの中間体の生産ならびに化成品の保管・運送を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	財務諸表 計上額(注) 2
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,611,387	10,363,633	22,975,020	—	22,975,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	241,614	241,614	△241,614	—
計	12,611,387	10,605,248	23,216,635	△241,614	22,975,020
セグメント利益	1,058,870	500,830	1,559,700	—	1,559,700
セグメント資産	16,264,075	13,824,871	30,088,946	6,777,001	36,865,948
その他の項目					
減価償却費	863,864	899,402	1,763,267	83,766	1,847,034
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,822,837	1,090,429	3,913,267	183,058	4,096,326

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	財務諸表 計上額(注) 2
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,217,325	10,238,307	24,455,632	—	24,455,632
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	265,970	265,970	△265,970	—
計	14,217,325	10,504,278	24,721,603	△265,970	24,455,632
セグメント利益	1,565,885	618,500	2,184,385	—	2,184,385
セグメント資産	20,643,272	13,233,337	33,876,610	5,253,907	39,130,517
その他の項目					
減価償却費	1,058,483	928,188	1,986,671	83,111	2,069,783
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,177,562	456,128	5,633,691	91,985	5,725,676

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント資産

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
全社資産※	6,777,001	5,253,907
合計	6,777,001	5,253,907

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

その他の項目

減価償却費

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
全社減価償却費※	83,766	83,111
合計	83,766	83,111

※全社減価償却費は、主に報告セグメントに帰属しない本社建物付属設備等に係る減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
全社資産※	183,058	91,985
合計	183,058	91,985

※有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、主に報告セグメントに帰属しない本社リース資産(有形)等の設備投資額であります。

2. セグメント利益は損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国・台湾	アジア(除く中国・台湾)	北米	欧州	その他の地域	合計
15,544,669	2,766,809	1,558,620	2,027,805	942,226	134,889	22,975,020

(注) 国又は地域は、地理的近隣度により区分しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国・台湾	アジア(除く中国・台湾)	北米	欧州	その他の地域	合計
15,842,805	3,242,717	1,781,997	2,260,212	1,180,747	147,152	24,455,632

(注) 国又は地域は、地理的近隣度により区分しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,113.90円	1,331.63円
1株当たり当期純利益金額	147.54円	233.43円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	1,171,026	1,852,797
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,171,026	1,852,797
期中平均株式数(株)	7,937,234	7,937,171

(重要な後発事象)

該当事項はありません。